

## 教育委員会会議の概要（令和5年4月定例会）

- ◆ 日 時 令和5年4月18日（火）午後2時00分から午後3時15分まで
- ◆ 場 所 教育局 第1会議室
- ◆ 出 席 者

教 育 長	福 田 洋 之	出 席
委員・教育長職務代理者	花 渕 浩 司	出 席
委 員	梅 田 真 理	出 席
委 員	川 又 政 征	出 席
委 員	後 藤 由 起 子	出 席
委 員	山 田 理 恵	出 席
委 員	庄 司 弘 美	出 席

### ◆ 会議の概要

#### 1 開 会

2 議事録承認 12月定例会、1月定例会、2月定例会

3 議事録署名委員の指名 川 又 委 員

#### 4 報 告 事 項

##### （1）市議会報告について

（総務課長 説明）

資料に基づき報告

##### （2）市指定文化財の指定解除について

（文化財課長 説明）

資料に基づき報告

#### 5 付 議 事 項

##### 第1号議案 高等学校学則の一部改正について

（高校教育課長 説明）

資料に基づき説明

花 渕 委 員 学科名が機械システム科に変更されると選択科目が入ってくるとの説明だったが、  
必修科目は変わらず選択科目が入るということは、時数増になるのか、それと

も単位増になるのか。

高校教育課長 時数については、定時制高校なので1日4時間しか授業の枠が確保できない。そのため、授業時数は変えず、選択科目として開講する。

原案のとおり決定

第2号議案 仙台市いじめ問題専門委員会の答申（令和5年3月）を受けてのいじめ防止等対策について

（教育相談課長 説明）

資料に基づき説明

後藤委員 細かくまとめてくださっていてすごいと思った。何を言うにも、やはり家庭との連携、家庭との情報共有が大切になってくると思う。家庭と一言で言ってもそれぞれの家庭の事情や保護者の考え方は違うので、連絡を一つするにしてもメールでしか受け入れないという家庭もあるし、電話ならこの時間帯だけにしてくださいとおっしゃる家庭も実際にある。年度初めに、こういったハンドブックなどで研修を行うことはとても大変だと思うが、それぞれの子供の保護者がどんな保護者でどんな家庭があるのかということ把握し、顔が見える関係を早めにつくり上げることが大切なのではないかと本当に思う。忙しいとは思いますが、お互いに顔が見えるような関係をつくり上げていただけたほうが結果的にいじめの防止につながっていくのではないかと考えている。よろしくお願ひしたい。

教育相談課長 いじめに限らず、全ての生徒指導上の初期対応では、家庭との連携が非常に重要だと思うし、ベースになると思う。

家庭によっては連絡の仕方が他の家庭と違っている場合や、学校からの連絡を受け入れない場合もあるが、その点については、例えばスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等、専門職の力を借りて、改善をしながら関係をつくった上で、学校側がいろいろ介入していくことが大事だと思うので、学校に啓発を図ってまいりたい。

梅田委員 とても分かりやすくまとめられていると思うが、繰り返し出てくる言葉が、研修の徹底ということと、教員が一人で抱え込まないで校内体制を整えていくということになっている。4月、5月はお子さんたちも非常に忙しく、年度替わりで気持ちが落ち着かない状況であり、そして、多分対応される先生方も忙しい状況だとは思いますが、管理職のリーダーシップの下で研修の機会を確実に確保することを徹底していただきたい。これはいじめのことだけではなく、そのほかの生徒指導や支援を必要とする子どもも含め、いろいろな対応があると思うので、こういったハンドブック関係については必ず時間を取って、みんなで一緒に開く、そしてみんなで一緒に読むということが非常に重要だと思う。分かっているつもりで対応するとミスが起きてしまうことは当然あり得るので、確実に確認していくことが非常に重要だと思う。ぜひその点をよろしくお願ひしたい。

また、9ページの〈教員として〉のiii)にある「気付く力」、鍵括弧つきで書いてあるが、この力は非常に重要だと思っている。やはり、目の前で起きていても気づかなければ拾っていくことができない。不登校のこともあるし、いろいろなことに対し

て、やはり教員が現場で感じ取る、そして、感じ取ったことを一人で抱え込まないで、感じ取ったということを周りに伝えられるような校内体制あるいは教育委員会との関係をつくっていけるように、ぜひ、今まででもやってこられたと思うが、なおそこは充実していくようにしていただきたい。

年度替わりで教職員の異動もあり、新しい学校へ行ってまだまだ慣れない先生や初任者もいると思う。そのあたりの声も確実に拾っていけるように、管理職への研修等でもお話しいただきたい。

教育相談課長 我々は研修の機会を非常に重要視している。学校が忙しいときでも必ずその時間を設けて、ハンドブックを活用しながら各自が決意を新たにしていじめ対策に対応することの周知はしていきたいと思う。そのためにも、学校では、忙しい時間をそちらに割けるように、校務の精選等をしながら、研修に時間が割けるような働きかけもしたいと思う。

それから、教員の「気付く力」が早期発見、早期対応につながるので、各教員が当事者という自分の意識を持って、情報を共有し合うというところの徹底も図っていききたいと思う。

花 淵 委 員 いじめについては教員一人一人のアンテナを高くしなさいということがあると思うが、アンテナというのは動かないので、ソナーでないと駄目だと思う。先生方一人一人が動いて、常にソナーを出しながら子どもたちの様子を見る。先ほど、「気付く力」という話もあったが、アンテナからソナーへの転換を図っていかないとなかなか難しいと思う。ただ、ソナーといったときに、その感度が、大学を出てすぐの若い教員から60歳の教員までいるため、その中で均一にはならないと思うが、先ほど課長からあったとおり、どういうものが子どもたちの発する声なき声なのかということ拾い上げられるように、OJTという言葉もあったが、ぜひ教員の中で共有できるようにしていただきたい。既に変わっている学校もあると思うが、アンテナは高くしても動かないので、ぜひ先生方一人一人がソナーとなって、子どもたちのいじめを早期発見できるようにやっていただきたい。

教育相談課長 新人の教員がソナーの感度を高くするために、中堅の教員にいろいろ聞いたり、中堅の教員が若い教員に積極的に教えたりしていく必要がある。一番はやはり管理職がそのためのリーダーシップをとって、共通理解をするような土壌を学校につくることが非常に大事だと今お話を聞きながら改めて感じたので、その点は徹底してまいりたい。

原案のとおり決定

第3号議案 臨時代理に関する件について（仙台市図書館協議会委員の委嘱について）

（市民図書館長 説明）

資料に基づき説明

原案のとおり決定